

鳥取県出身の著名人に聞いた とっとりのおいしいところ

特別号と銘打った今回は、地元を離れて暮らす鳥取県出身の著名人の声を紹介します。あらためて思う同県の魅力、お気に入りのスポットやグルメは？ 押しも押されぬ山陰の冬の味覚・松葉がになど、カニの本格シーズンに合わせたキャンペーン情報もお見逃しなく。

企画・制作 / 中日新聞広告局

インタビュー 面白い芸人 ガンバレルーヤ まひるさん



プロフィール/鳥取県西伯郡大山町出身。28歳。お笑いコンビ「ガンバレルーヤ」のツッコミ担当。相方のよしこ（愛知県豊田市出身）とともに、バラエティー番組などで活躍中。今年5月からは地元テレビ局で、コンビによる初の冠番組がスタートした。

になり、そのありがたみを感じているようです。

「私が育ったのは、家の周りで土を掘ればミョウガやタラの芽が出てくるようなところ。それが東京では、大好きなミョウガも結構な値段で売っていて驚きました。『ミョウガは掘るもの』という感覚でしたから。他にも野菜や果物は、作った物をご近所とおすそ分けし合うのが普通だったので、恵まれていたと思わずにうれれません」

ふるさとを離れて気付いた魅力もあれば、離れたからこそ人に話したい鳥取の魅力があるというまひるさん。それはやはり、県外にも誇れる多彩な観光資源でした。

「鳥取といえば砂丘だね」とよくいわれますが、それだけじゃないと思います。そのときの『返し』ですか？ 『鳥取砂丘は私も大好きです。でも鳥取には温泉もたくさんありますし、大山は季節や見る場所が違ったお顔を見せてくれますよ』がお約束。ちょうど今、カニのシーズンに合わせた『蟹取県ウェルカニキャンペーン』のPR大使をさせていただいていますが、ダジャレで押すところも鳥取県らしくいいでしょう？」



「蟹取県」のキャップを被るまひるさん

ふるさとを離れて気付いた！離れたからこそ人に伝えたい！ 当たり前のことでも特別なものが、鳥取の魅力

各メディアに引つ張りだこの女性お笑いコンビ・ガンバレルーヤ。過酷なロケに果敢に挑む姿を見せたと思えば、まひるさんはおっとりとしながらものを射た一言で視聴者の笑いを誘います。「鳥取で育ったから今の私がある」。言葉の源にあったのは、ふるさとへの敬意と愛情。鳥取県は素敵なところだと皆に知ってほしい。そんな上京して暮らす地方出身者の高揚を、おなじみの柔和な語り口で話してくれました。

テレビやラジオ、舞台上にイベント、今ならユーチューブやSNSなど、お笑い芸人の活躍の場はさまざまあります。売れっ子のガンバレルーヤの場合、テレビは主戦場の一つ。バラエティー番組で大自然相手のロケに臨むこともしばしばです。「最近、登山をしてちよつとした崖を飛び降りました」と事もなげに話しますが、まひるさんは得意分野だといえます。

「小さいころは木登りが好きでしたし、夏には高さ3mほどから川に飛び込んで遊んでいました。大人になった今は怖く感じるときもありますが、子ども時代を体験させてもらっていると思うと楽しいですね」

まひるさんが生まれ育ったのは、鳥取県西部の大山（だいせん）町。中国地方最高峰・大山のすそ野にあるこの町で、高校を卒業するまで過ごしました。川のせせらぎとともに水とたわむれ、草木の匂いを感じながら野山を駆け回る。少女時代は、そんな日常がごく身近にありました。身近といえば、鳥取県は野趣あふれる環境を享受した山海の恵みが豊富ですが、都会で暮らすよう

鳥取県からのお知らせ

毎月100人にカニが当たる!!

蟹取県ウェルカニキャンペーン

鳥取県では、県内の対象宿泊施設(157軒)の宿泊者を対象に、抽選でカニが当たるキャンペーンを2022年2月28日(月)まで実施中です。

応募方法 期間中に対象施設に宿泊

専用WEB応募フォームまたは宿泊施設に設置の専用はがきで応募。※WEBは宿泊施設のレシート(領収書)を撮影し、必要事項を入力して応募

抽選で毎月100人・総勢400人に「鳥取の旬のカニ」が当たる!

またある! **豪華賞品が当たるコンテンツ**

#とり旅診断 自分に合う鳥取旅を診断してくれる質問に答えて、診断結果をTwitterでシェアすると、抽選で22人に松葉がにが当たる!

ベジカニキャンペーン 期間中、県内の対象店舗での「ベジカニメニュー」の飲食&アンケート回答で、抽選で22人に蟹土産が当たる! ※2022年1月15日(土)スタート

詳細は<https://www.kanitoriken.jp/>をチェック!!

お問い合わせ ふるさと鳥取県産業・観光センター
中区栄4-16-36 久屋中ビル5階
☎052-262-5411 FAX052-262-5415
<https://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/>

2 「森の国」の 大山フィールドアスレチック

大山の中腹にある自然体験施設です。「私の体を作った場所」とまひるさんが語るフィールドアスレチックは、西日本最大規模とか。大山の自然を満喫しながら遊べるとあり、子どもにも大人にも人気。

3 「ビアホフ ガンバリウス」の 大山Gビール

まひるさんが「鳥取に帰ったときは行きます」という地ビールレストラン。大山の天然水を使って仕込んだ地ビールが自慢で、ヴァイツェンとビルスナーは、地ビールの世界大会で1位を獲得したことも。

1 「大山まきばみるくの里」の ソフトクリーム

大山を目の前に望む大山放牧場内のレジャー施設で、牛たちが草をはむ牧歌的な風景が広がります。芝生広場で食べる名物のソフトクリームは格別。「今でも食べたくなります」とまひるさん。※3月までは冬季休業

名古屋の人に
お勧めしたい

**大山エリアの
お気に入り
3選!**

まひるさんお気に入りの大山エリアから、注目スポットやグルメを紹介します。鳥取へ出かける際の参考にしてみてください。